

令和元年11月12日14時00分
資料配布 近畿地方整備局

嵐山地区における『可動式止水壁』の整備に向けた検討を行います ～ 11/15 桂川嵐山地区河川整備検討委員会(第9回)を開催 ～

桂川嵐山地区の河川整備について、観光産業への影響を含め、「史跡・名勝」としての嵐山地区の景観や利用に配慮した河川整備の検討を進めています。

第9回委員会では、前回委員会以降、検討を重ねてきた渡月橋上流左岸の溢水対策(可動式止水壁)の検討経緯、構造、意匠、完成後の運用について、審議いただく予定です。

■日時： 令和元年11月15日(金)13:00～15:00

■場所： TKP京都駅前カンファレンスセンター ホール3A

■会場での報道関係者の取材は可能です。
ただし、撮影は頭撮りのみとさせていただきます。

<取扱い> _____

<配布場所>

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
京都府政記者室、京都市政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

事業対策官 やま たかし
矢間 孝司

調査課長 いなぎ しげと
稲垣 茂人

電話番号 (072)843-2861(代表)

嵐山地区における『可動式止水壁』の整備に向けた検討を行います

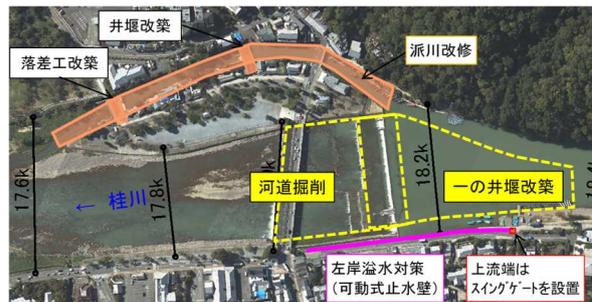
～ 11/15 桂川嵐山地区河川整備検討委員会(第9回)を開催 ～

桂川嵐山地区は、渡月橋や世界文化遺産の天龍寺をはじめとした歴史的文化財が点在し、国内有数の観光地であるものの、上下流に比べて川幅が狭い等の治水上の課題があり、平成25年の台風18号においては川から水が溢れて大きな浸水被害が発生しました。

本委員会では、観光産業への影響を含め、「史跡・名勝」としての嵐山地区の景観や利用に配慮した河川整備の検討を進めており、審議結果を踏まえ緊急的な治水対策として堆積土砂の撤去、6号井堰の撤去をこれまでに実施したところです。

また、前回委員会(平成30年12月10日)では、これまでの委員会での審議をふまえ、当面の治水対策について3つの対策で進めるという方向性をまとめたところです。

今回は、前回委員会以降、検討を重ねてきた渡月橋上流左岸の溢水対策(可動式止水壁)について、検討の経緯や構造、意匠、完成後の運用について、審議いただく予定です。



嵐山地区における当面の治水対策

1. 開催日時等

日 時: 令和元年11月15日(金) 13:00～15:00

場 所: TKP 京都駅前カンファレンスセンター ホール3A



2. 委員名簿

別紙のとおり

3. 主な議事内容(予定)

・可動式止水壁について

4. 傍聴にあたっての留意事項

当日会場にて受付を行います。なお、会場の都合により傍聴者席には限りがあります。

このため、傍聴受付は先着順とさせていただきます。

5. 取材等

会場での報道関係者の取材は可能です。

ただし、撮影は頭撮りのみとさせていただきます。

「別紙」

(五十音順)

氏名 (敬省略)	所属等
学識経験者及び有識者	
小川湫生	天龍寺宗務総長
川崎雅史	京都大学大学院工学研究科教授
金田章裕	京都大学名誉教授
坂上英彦	嵯峨美術大学名誉教授
立川康人	京都大学大学院工学研究科教授
委員長 中川博次	京都大学名誉教授
深町加津枝	京都大学大学院地球環境学堂准教授
道奥康治	法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授
行政	
三戸雅文	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所長
富山英範	京都府建設交通部長
近藤健司	京都府商工労働観光部観光政策監
谷口一朗	京都市建設局土木技術・防災減災担当局長
糟谷範子	京都市観光政策監